

久留米工業大学「アセスメントポリシー」

久留米工業大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学科・専攻）、科目レベルの3つの段階で、学修成果の評価（アセスメント）を行います。また、その結果の集約・分析・共有を通して、3つのポリシーの妥当性・整合性を検証し、教育・学修支援等の改善に組織的・継続的に取り組むことで、教育の内部質保証を図ります。

1. 機関レベル（大学） 入学から卒業までの各種アンケート調査、GPA・単位修得状況、退学・休学率等の状況、就職・進学状況、卒業生・就職先企業へのアンケート調査等を通して、学修成果の達成状況を検証し、全学的な教育・学修支援等の改善に活用します。
2. 教育課程レベル（学科・専攻） 各種アンケート調査、学生面談、学生ポートフォリオ、大学院ポートフォリオによる学修活動状況調査、資格等の取得状況、GPA・単位取得状況、卒業研究のルーブリック評価、留年・退学・休学率等の状況、就職・進学状況等を通して、学修成果の達成状況を検証し、各教育課程の改善に活用します。
3. 科目レベル 各科目のシラバス記載の到達目標及び成績評価方法に関する適切性の評価、学生授業評価アンケート、教員相互の授業参観による評価等を通して、科目ごとの学修成果の達成状況を検証し、授業の改善に活用します。